

2024アジアベテラン&少年フェンシング選手権大会 レポート

～だれもが、いつでも、どこでもできるフェンシングを目指して～

生涯スポーツ・ベテラン部会

2024年8月22日～25日、アジアワールドエキスポのホール2にて、アジアベテラン&少年フェンシング選手権大会が開催され、日本からはベテラン51名、小学生5名が参加しました（少年大会との同時開催は今回がテストケースとのこと）。用具はユニフォーム以外すべてFIE基準を満たすことが求められ、参加のハードルがやや高くなった印象ですが、個人戦については各国の参加人数制限がなく、アジアベテランならではの友好的な雰囲気と楽しさは健在でした。

大会終了直後に寄せられた参加者の皆様の感想からアジアベテランの魅力を感じ取っていただけたら幸いです。来年のアジアベテラン選手権大会はサウジアラビアで開催されることが決まりました。多くの方々が参加されることを願っております。



参加者コメント集（一部抜粋）

初めての参加で緊張しておりましたが、日本メンバーのみなさまには温かく声を掛けていただき助けていただきました。我が家は、ミニムで息子も参加し、私の母親と三世代で参りました。家族としても一生モノの機会になりました。（芳賀正輝）

4回目の参加となります。どの大会も共通して感じるのは、SNS等を通じて容易に国際交流を図れるということです。今回はベテランだけではなく、ミニムクラスの大会でもあり、小学生クラスの選手の戦い方を見ることができました(特にエペサーブル)。地元クラブで小学生を指導するコーチとしても大変参考となりました。（湯田猛）

多様なバックグラウンドを持ったフェンサー達がお互いの技量を競い、称え合う。そんな美しい文化がこの大会にはありました。私も世界で勝てる選手になると同時に、多様性を認め合い互いにリスペクトのできる人間になりたいと強く感じさせられた有意義な大会でした。（桑波田卓）

アジアベテランは、フェンシングを通じて、旧交を温め、新しい知己を得られる、良い機会だと思います。大会毎に多少顔ぶれが変わるものの、それぞれ流儀の異なる強い選手と剣を交えることで、ベテラン世代の裾野の広さを感じさせられます。（水谷仁）

初のアジアベテランでした。中国、マカオ、香港、色々な方と試合をしましたが、どこもスタイルが異なり、大変勉強になりました。フィジカルと繊細さが圧倒的に足りないことを痛感。同世代に負けるのは悔しいので、練習してまた帰ってきます。（岩崎智之）

去年からの Returned fencer - フルーレplayerの私ですが、こういった大きな試合ピストの感じの緊張感があらためてとても好きになって来ました。皆様の試合を見て、個人的にはとても良い刺激を受け、勇気を本当に沢山頂きました。（南部明子）

アジアベテランは三回目の参戦でした。外国の人との試合は、🇯🇵を背負った感覚を味わえ充実した時間を過ごす事が出来ました。（黒野優吾）

初めての国際試合。フェンシングを通して言葉の壁がなくなる貴重な体験でした。ベテランならではのコミュニケーションもあいて、とても楽しい大会でした。初めてお会いする日本代表の方々にもたくさんの刺激を受けました。幅広い年代で本気になれるフェンシングは、まさに生涯スポーツです。また皆様にお会いしたいです。（川嶋慎一）

個人的には団体に貢献できず申し訳なく、悔しい気持ちで現在帰路に着いています。来年の大会ではもっとチームジャパンに貢献できるよう、一年間精進します。（三村翔）

1人で海外大会へ行くと、情報収集がたいへんですが、LINEで皆さまからの情報があり、かなり助かりました。ありがとうございます😊 試合は体調も悪くさっぱりでしたが、また英気を養い参加したいと思います。（山田幸一）

言葉は通じなくても、剣を交えた記憶は必ず残ると実感出来ました。フェンシングって素晴らしいですね。（森本浩司）

一度は国際大会にと思い初めてアジアベテラン大会に参加しました。各国のユニフォームを来た人達を見て国際大会の雰囲気味わうことができ、そのピストでフェンシングができる喜びを感じました。しかしやはり参加から勝敗にこだわることも重要だと感じております。生涯スポーツとしてモチベーションを持って続けて行きたいと思います。（長谷川良行）

団体戦では、今まで憧れていた方達と同じチームになり、みなさんに親切にいただき、楽しくプレーすることができました。技術はまだまだ皆さんに追いつきませんが個人戦とは違う緊張感を感じながら皆さんの温かい応援をいただき、精一杯楽しめました！ 今回は少年大会も一緒だったので娘と一緒に試合できる幸せをかみしめていました。（近藤香奈）

今回、妻と娘2人と一緒に会場で過ごすことができましたが、会場のみなさまのおかげで、家族も大変フェンシングとフェンサーが好きになり、フェンシングの魅力を改めて感じることができました。そして剣を通じて海外の方とも接し、皆フェンシングが大好きであることを感じ、フェンシングをやってきたことを、とても誇らしく感じました。（高橋優）



今回が3回目のアジアベテランでしたが、サーブルのみの出場は初めてでした。翌日は試合が無いと思うと、知らず知らずいつもより楽しもうと言う気持ちが強くなり、過去に無いほど海外の選手とも交流を持つことが出来ました。来年からはカテゴリーCとなりますが、もっと多くの試合が楽しめるよう精進したいと思います。（寺田雅史）

アジアベテラン個人戦に初めて出場しました。期待と不安が入り混じる中のプレーは普段味わえない貴重な経験でした。皆さんの温かい応援をいただき感謝の言葉しかありません。少年大会に参加した娘もアグレッシブな海外勢に苦戦しましたが、非常に勉強になりました。課題も見つかり成長に繋がる良い経験になりました。（林雄大）

国際試合は、勝者も敗者も笑顔で相手を讃え労うところが印象的です。海外交流で貴重な経験を心得、歳を重ねても成長の場があると実感します。競技に打ち込み、心弾む時間を持てる事がとても幸せです。チームJAPANとしてまたご一緒させて頂きたいです。（川戸真紀）

世界での経験が浅い自分にとって、チームJAPANの先輩方のプレーはもちろんです。ピストでのマナーや、会場での試合の間の時間の過ごし方などは拝見してとても勉強になりました。次回は団体戦にも挑戦してみたいです。たくさんの応援と感動をありがとうございました(^^)（大塚奈都子）

パフォーマンスに関しては、個人団体ともに満足のいくものではありませんでしたが、前向きに、上を見てコツコツと練習を重ねていきたいと改めて決意しました。フェンシング初心者ですが、始めて本当に良かったと思いました。また遠征に出られるように、真面目に仕事と貯金に励みます！ 怪我をしないように、練習してきます！（鈴木ありさ）

今回初めての海外試合への参加でした。試合や皆さんとのコミュニケーションから、多くの学びを得た、貴重な数日間でした。今日からまた、気仙沼でジュニアの選手たちとの練習を再開します。子供たちに、今回の経験をたくさん伝えていきたいと思います。（佐藤恭子）

初めての国際大会出場でした。今大会で、フェンシングは幅広い年代に門戸の開かれた素晴らしいスポーツであることを実感しました。種目の違いや、世界中の人との交流など、楽しみが多くて、すごく奥深い世界に入り込んだなと思いました。素晴らしい機会に参加でき、フェンシングを始めて良かったです。（森田奈津子）



全てが、新しいチャレンジ、無事入国し、試合をし帰国する。本当に貴重な体験です。このような機会を与えていただきありがとうございます！（中山一美）

参加を単独で決めた私に声を掛けて頂いた、経験豊富・語学堪能な先輩方と同じホテルに宿泊した事で、試合に集中出来ました。一昨年初、37年振りに本格的に剣を握った時は、このような魅力的かつ刺激的な大会に参加する姿を全く想像しておりませんでしたので、本当にフェンシングを再開して良かったと思っております。（藤井健史）

試合には練習会や合宿で知り合ったかた達が応援にきてくれ、アドバイスまでしてもらいました。そのアドバイスを実行すると、今までとは違う景色を見ることができました。フェンシングをはじめ2年、訪問診療の医師として多くの患者さんの人生のお手伝いをしているのですが、自分の人生もしっかりと生きられるようになったと実感しています。（横山太郎）

大好きなフェンシングがもっと好きになりました。今回得た経験を胸に、沢山の挑戦と失敗、そして勝利を掴んでいきたいと考えています。（山下隼）

学連出身でもないど素人おばさんを同じフェンサーとして受け入れてくださった日本選手の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。大会では日本ベテラン選手のレベルの高さに感服致しました。少しでもチームJAPANに貢献出来るように努力致します。（守屋暁子）

今大会で初めてご一緒した日本選手の方々あり、30年以上前にシニアの各種国際大会で剣を交えた香港、台湾選手らとの再会ありで、新旧の交流を楽しめました。また、今回観光がてら応援に来た私の娘が、初対面の皆さんとすぐに馴染んで試合の応援やハイタッチをしてるのを見て、やはりフェンシングはいいなあ、と思いました☺（村上哲久）

試合では、相手がありますが、自分との会話ができたことがとても楽しかったです。また団体戦では、27年前の全日本の決勝で戦った選手と、香港では同じチームで目的のためにみんなで力をあわせて戦えたことがこんな素晴らしいことはないと感じました。これからもピスト上に長くいられるよう、継続して鍛練していこうと思います。（宮本朝廷）



MVP

Vigorous Versatile Victorious

2024年9月掲載